



## 新緑の季節をクラシックと♪

『指先から旅をする』藤田 真央  
(スタッフ・I)

## 音楽を読む

私は旅行が好きだ。異国の空気、おいしい食べ物、人との出会いに心を動かされ、また旅に出たくなる。そんな私がおすすめしたいのが、若きピアニスト・藤田真央によるエッセイ集『指先から旅をする』だ。世界を舞台に活躍する彼が、活動の合間に会った風景や人々を、瑞々しい感性で綴っている。静けさと透明感のある言葉が心に響き、読んでいっただけで一緒に旅をしているような気分になれる。あわせて紹介したいのが『蜜蜂と遠雷』である。国際コンクールに挑むピアニストたちの情熱と葛藤を描いた物語だ。映像化作品では、藤田が鈴鹿央士演じる風間塵の演奏を担当している。原作では言葉で描写されていた音楽の高揚と緊張感を、実際の演奏として体感できるのも大きな魅力だ。とりわけ藤田の演奏は圧巻で、作品にリアリティを与えている。どちらも、日常にいながら遠くへ連れ出してくれるような作品である。

(続編『指先から旅をする2』、スピノフ短編集『祝祭と予感』恩田陸/著も刊行)

『指先から旅をする』  
藤田 真央

出版社:文藝春秋  
請求記号:762.17  
中央・行徳他所蔵あり

参考資料:『蜜蜂と遠雷』恩田 陸/著 幻冬舎 2016.9 駅南/913.6/1  
『蜜蜂と遠雷』DVD 石川 慶/監督、脚本、編集 東宝 2021.1 行徳/D02/ミ

ナクソスに  
ログインして  
アクセス!



ナクソスミュージックライブラリーでは、『蜜蜂と遠雷』の特設ページがあります。  
ホーム>特設ページ>恩田陸さん監修・小説『蜜蜂と遠雷』プレイリスト  
また、藤田真央はアルバム『映画『蜜蜂と遠雷』～藤田真央plays風間塵』をリリースしていて、そちらもナクソスでお楽しみいただけます。

## クラシックにふれよう

『主よ、人の望みの喜びよ』バッハ  
(スタッフ・T)

バッハのカンタータBWV147「心と口と行いと命もて」-コラール「主よ、人の望みの喜びよ」をご紹介します。もとは礼拝のための曲ですが、今は様々な場所や場面で使用されている有名な曲です。よく卒業式で使用されているため、この曲から卒業式での光景を思い出す人も多いのではないのでしょうか。アニメが好きな人にとっては「新世紀エヴァンゲリオン」の劇中でも使用されているため、そちらでの印象の方が強いという方もいらっしゃるかもしれません。この曲はバッハが1723年ライプツィヒにいた頃に制作した作品です。この頃、バッハはなんと週に一度は新しいカンタータを制作しており、バッハが制作した300あるというカンタータのほとんどがこの頃のものとして残っています。ここでの生活ではバッハは作曲だけではなく学校教員や音楽監督、その他雑務の管理に弟子へのレッスンなどなど幅広く仕事を抱えており、かなり多忙であったようです。清らかで神聖さをも感じさせる旋律。歌声が響き渡り優しく包み込んですべてが許容されていくような美しい曲です。新しく先に進み始めていく春の季節にそっと背中を押してくれる名曲だと思います。

参考文献:『バッハ』ポール・デュブーシェ/著 高野 優/訳 創元社 1996.6 駅南/762.3/ハ  
『知ってるようで知らないバッハおもしろ雑学事典』那須田 務ほか/著 ヤマハミュージックメディア 2009.8 駅南/762.3/ハ  
『バッハ』久保田慶一/著 音楽之友社 2021.4 駅南/762.3/ハ



ナクソスに  
ログインして  
アクセス!



ナクソスミュージックライブラリーではこの曲が806件ヒットします。10曲目「主よ、人の望みの喜びよ」のみの演奏でしたら三分、全10曲全てならば十分程で聞くことができます。多くのバージョンでの演奏が収録されておりますので是非聞き比べてみてはいかがでしょうか。

## 編集担当のひとこと

環境の変化や季節の変わり目などで疲れが溜まってくる頃ではないでしょうか。ナクソスおすすめプレイリスト『脳疲労回復クラシック』(人気のYouTubeのプレイリスト版だそうです)にはドビュシー「美しき夕暮れ」、バッハ「カノンとジグ 二長調 (ハーブ編)」、シューベルト「音楽に寄せて」など疲れを癒すクラシック曲が100曲収録されています。是非ご利用ください。